

本県の気候風土に適した早生樹に関する調査研究（３）

予算区分：森林環境譲与税	研究期間：令和元～７年度	担当：森林科学係 飯島 民子
--------------	--------------	----------------

コウヨウザン成長量調査【３】 太田試験地

I はじめに

近年、スギやヒノキに代わる新たな造林樹種として、用材や木質バイオマスに利用でき初期の樹高成長が優れ、伐期までの期間が短いコウヨウザンなどの早生樹が注目されている。また、早生樹は高い炭素固定能を持っているため、地球温暖化防止に果たす役割にも注目されている。一方で、早生樹は西日本を中心に植栽されており、本県ではコウヨウザン等早生樹の単木での植栽は見受けられるが、大規模な植林は確認されていない。

そこで、群馬県中部平野地域の気候、地理的条件でコウヨウザンがどのような成長をするか、株式会社祥和コーポレーションの協力のもと成長量調査を実施した。

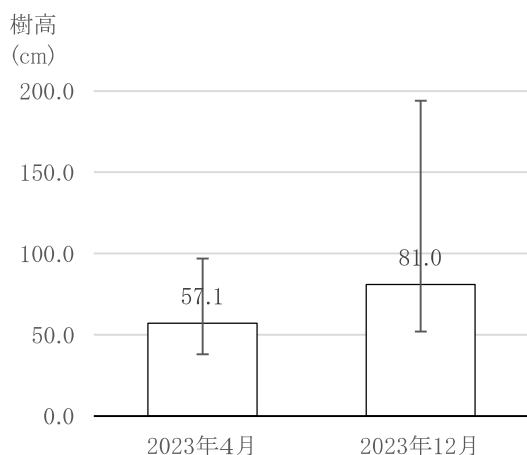
II 方 法

調査地は太田市大鷲町の株式会社祥和コーポレーション所有地で、面積 0.19ha、標高は約 73m、北関東自動車道やゴルフ場に近接している。

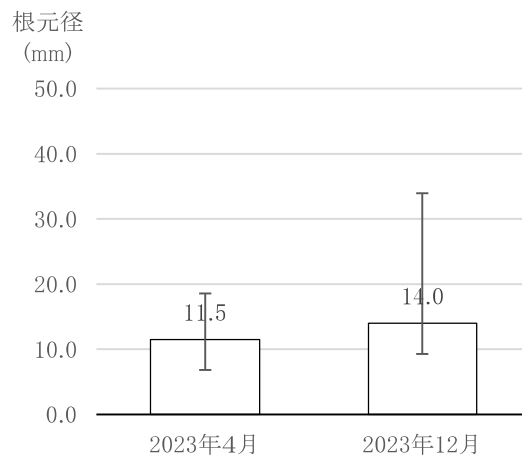
2022 年 6 月に茨城県産のコウヨウザン苗木（苗高 45cm 以上、300cc のコンテナ苗）174 本を植栽した。当調査地周辺にシカは生息していないため獣害対策を施さなかったが、一方でイノシシの掘り返し等による被害が多数発生した。このため、残存木のうち 40 本を抽出し、2023 年 4 月 26 日（以下、第 1 回）、同年 12 月 14 日（以下、第 2 回）に樹高及び根元径の測定を行った。

III 結果

第 1 回及び第 2 回の測定結果について、平均樹高を図－１、平均根元径を図－２に示す。なお、いずれもエラーバーは最大値、最小値を表す。平均樹高は第 1 回が 57.1cm、第 2 回が 81.0cm で今成長期に 23.9cm 増加した。平均根元径は第 1 回が 11.5mm、第 2 回が 14.0mm で今成長期に 2.5mm 増加した。



図－１ 平均樹高（2022 年植付）



図－２ 平均根元径（2022 年植付）